

IARU、APRUによる学生交流プログラム・大学院学生会議 参加学生募集要項

2014.3.19

東京大学本部国際交流課

※募集に関する情報・応募書類等は変更の可能性があります、また有益な情報・よくある質問等を後日追加して掲載する場合がありますため、最新情報を必ずウェブサイトを確認すること。

<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/program/iaru-apru.html>

1. 概要

IARU (International Alliance of Research Universities、国際研究型大学連合)および APRU (Association of Pacific Rim Universities、環太平洋大学協会)による以下の学生交流プログラム・大学院学生会議に、東京大学からの奨学金付きで参加する学生を募集する。各プログラムの詳細は別紙およびウェブサイトを参照すること。

1. IARU Global Cross-Disciplinary Tournament (IARU GXT)

<http://www.anuxsa.org/gxt/>

日程・会場：July 8-18, 2014 Australian National University (Australia)

テーマ：“The Future of the Body”

対象：学部学生

応募締切：(IARU GXT 事務局への参加登録) 平成 26 年 3 月 28 日 (金)

(東京大学本部国際交流課への参加申請) 平成 26 年 5 月 14 日 (水) 17:00

2. APRU Undergraduate Summer Program (APRU USP)

<http://apru.org/creating-global-leaders/undergraduate-summer-program>

日程・会場：July 7-14, 2014 Nanjing University (China)

テーマ：“Developing Asia-Pacific Global Leaders: China's Perspectives”

対象：学部学生

応募締切：(東京大学本部国際交流課への参加申請) 平成 26 年 4 月 4 日 (金) 17:00

※主催者のウェブサイトに記載の締切日とは異なるため注意すること。

3. IARU Graduate Student Conference (IARU GSC)

<http://www.iaru-conferences-2014.dk/Graduate-Student-Conference.aspx>

日程・会場：June 21-22, 2014 University of Copenhagen (Denmark)

テーマ：“Aging Research and Scientific Careers”

対象：大学院修士課程または博士課程学生 (博士課程の学生が望ましい)

応募締切：(東京大学本部国際交流課への参加申請) 平成 26 年 4 月 4 日 (金) 17:00

※主催者のウェブサイトに記載の締切日とは異なるため注意すること。

4. APRU Doctoral Student Conference (APRU 博士課程会議)

<https://apru.org/creating-global-leaders/doctoral-students-conference/item/564-doctoral-student-conference-2014>

日程・会場：August 18-24, 2014 University of Indonesia (Indonesia)

テーマ：“Understanding the Pacific Rim: Dynamics, Challenges and Opportunities”

対象：大学院博士課程学生

応募締切：(APRU DSC 事務局への参加登録) 平成 26 年 3 月 30 日 (日) [First Round]

平成 26 年 4 月 30 日 (水) [Second Round]

(東京大学本部国際交流課への参加申請) 平成 26 年 6 月 2 日 (月) 17:00

2. 募集人数

1. IARU Global Cross-Disciplinary Tournament (IARU GXT)

6 名程度

2. APRU Undergraduate Summer Program (APRU USP)
東京大学から2名を推薦
ただし、”the participation in USP 2014 will be capped at 60 students to ensure the academic and experiential quality of the program.”
3. IARU Graduate Student Conference (IARU GSC)
東京大学から2名を推薦
4. APRU Doctoral Student Conference (APRU 博士課程会議)
東京大学から奨学金を支給するのは3名程度とする。会議自体の募集人数は以下のとおり。
To ensure the academic and experiential quality of the conference, the participation in DSC 2014 will be capped at 70 participants.

3. 資格・条件

以下の資格・条件をすべて満たすこと。

- (1) 参加期間を通じて、本学の学部又は大学院研究科・教育部の正規課程に在学する者。(参加時に休学中の者は応募不可とする)
- (2) 参加に際して、十分な成果を上げられる英語能力等を有すること。
- (3) 1.IARU GXT と 4.APRU 博士課程会議については、主催者のウェブサイト参照し、個人で応募し、参加の許可を得ていること。
- (4) 履修において不利益とならないよう、夏学期の授業・試験日程、その他各自の予定等を申請前に十分確認し、参加が可能な場合のみ応募すること。(東京大学として推薦できる人数に上限があり、学内選考後に辞退すると他の学生の参加の機会を失することにつながるため、原則として申請後に辞退することのないよう注意すること。)
- (5) 本学の授業に一定期間出席できない場合等の取扱いについては、参加時の所属部局の判断による。本プログラムへの参加に際し必ずしも配慮が行われるとは限らないため、十分確認・納得した上で申請すること。
- (6) 本学の指導教員に、参加することを事前に報告し、了承を得た上で申請書の所定の欄に署名を受けること。上記に該当する教員等がない学生は、所属する部局の担当部署にその旨報告・相談すること。
- (7) 所属する部局の担当部署に相談し、申請前に、参加に関する学務上の留意点の説明を充分受け、申請書の所定の欄に署名をもらい、納得した上で申請すること。

4. 費用・奨学金

- (1) 本募集により奨学金支給対象者に選ばれた場合、旅費の一部として以下の奨学金を支給する。
 1. IARU Global Cross-Disciplinary Tournament (IARU GXT) : 8万円
 2. APRU Undergraduate Summer Program (APRU USP) : 6万円
 3. IARU Graduate Student Conference (IARU GSC) : 8万円
 4. APRU Doctoral Student Conference (APRU 博士課程会議) : 6万円
- (2) 費用の目安は以下のとおり。(募集時の情報であり、変更の可能性がある。最新情報はウェブサイトを確認すること。) 奨学金を超える部分の宿泊料・航空賃・保険料等の参加に要する経費は自己負担となる。
 1. IARU Global Cross-Disciplinary Tournament (IARU GXT)
宿泊費・食事をオーストラリア国立大学が負担する。
 2. APRU Undergraduate Summer Program (APRU USP)
登録料 USD600 (宿泊費・食事、現地交通費などを含む)
 3. IARU Graduate Student Conference (IARU GSC)
登録料は不要。宿泊費は自己負担。(1泊 DKK435 (EUR58))
 4. APRU Doctoral Student Conference (APRU 博士課程会議)
登録料 USD350~400 (宿泊費・食事、現地交通費を含む)
- (3) 他団体等から奨学金を受給しており、その奨学金支給団体側において奨学金の併給を認めない場合は、奨学金を受給できないので注意すること。

(4) 国費外国人留学生については、本奨学金は旅費の一部として使途を特定して支給するため、支給可能な場合があるが、国費外国人留学生制度の定めにより支給できない場合もある。詳細は所属部局の担当部署に確認すること。

5. 応募締切

プログラム毎に異なる。「1. 概要」を参照すること。

6. 応募方法

(1) 1.IARU GXT と 4.APRU 博士課程会議については、主催者のウェブサイト参照し、締切日までに個人で参加登録の手続きを行い、参加の許可を得ること。その後、(3)の方法により、東京大学本部国際交流課へ参加申請を行うこと。

(2) 2.APRU USP と 3.IARU GSC については、まず(3)の方法により、東京大学本部国際交流課へ参加申請を行うこと。その後、東京大学本部での学内選考を行い、参加候補者を主催大学に推薦する。

(3) 「応募書類」欄に記載の応募書類一式(電子ファイル及び紙媒体の両方)を締切日必着で東京大学本部国際交流課(文京区本郷)へ提出すること。電子ファイルのものはメールで提出し、紙媒体のものは持参または郵送すること。※メールの件名には必ず応募プログラム名と氏名を記載すること。

提出先：〒113-0033 文京区本郷 5-24-5 角川本郷ビル2階

東京大学本部国際交流課 留学プログラム担当

地図：<http://g.co/maps/67qfy>

持参の場合の受付時間：土日祝日を除く 9:00～12:00、13:00～17:00

7. 学内選考

(1) 1.IARU GXT と 4.APRU 博士課程会議については、主催者のウェブサイト参照し、個人で参加登録の手続きを行い、参加の許可を得ていることが選考の条件となる。許可を得た学生の中から書類審査により東京大学本部での学内選考を行い、奨学金支給学生を内定する。

(2) 2.APRU USP と 3.IARU GSC については、書類審査により東京大学本部での学内選考を行い、2名の学生を参加候補者として主催大学に推薦する。

(3) 書類に不備がある場合の連絡や、合否結果の連絡等はEメールで行うため、応募後は定期的にEメールを確認すること。重要な連絡が迷惑メールフォルダに振り分けられてしまう例もあるため、迷惑メールフォルダも確認すること。

(4) 選考結果は、応募締切から数週間後にEメールで学生本人及び所属部局の担当部署に通知する。

(5) やむを得ない事情で申請を取り下げの場合には、早急に本部国際交流課へ知らせること。

(6) 1.IARU GXT と 4.APRU 博士課程会議については、学内選考で奨学金に不採択となった場合は、自費で参加することとなる。

8. 学内選考通過後の留意事項

(1) 学内選考を通過した場合でも、最終的に当該プログラムへの参加が認められなかった場合や、手続き不備により参加できなくなった場合等は、奨学金を支給しない。

(2) 参加手続き及び渡航手続き、査証(ビザ)取得手続き等は、渡航先大学の指示に従い、また、渡航する国や地域の大使館等で必ず最新の情報を得て本人の責任により行うこと。また、これらに要する費用も本人の負担となる。書類不備や締切日の確認漏れ等の理由でプログラムに参加できなくなった場合は本人の責任とし、奨学金は支給しない。

(3) やむを得ない事情により参加を辞退しなければならない場合は、早急に本部国際交流課へ連絡すること。

(4) 所属部局の担当部署に確認し、海外渡航に必要な手続きを行うこと。(必要な手続きは、所属部局毎に異なる。)

(5) 指導教員等の関係者には事前に連絡するなどして、海外に一定期間渡航することにより関係者に

迷惑をかけないように努めること。

- (6) 一般的な海外渡航のための情報や危機管理等については、Go Global ウェブサイトを参照すること。[\(http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/voyage/\)](http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/voyage/) 特に、危機管理ガイドブックは必ず熟読すること。また、参加期間をカバーする海外旅行傷害保険等に各自必ず加入して渡航すること。
- (7) 派遣学生へのオリエンテーションを開催する場合があるため、やむを得ない事情がない限り参加すること。
- (8) 奨学金受給者が、前述の資格・条件に反する事実が判明した場合、又は受給者として適当でない事実があったときは、既に支給した奨学金の全額又は一部を返納させる。また、参加を中断・休止した場合も、既に支給した奨学金の全額又は一部を返納させることがある。
- (9) そのほか、東京大学が指示する注意事項に従うこと。

9. 参加の際の注意事項

- (1) 参加プログラムの趣旨を理解の上、十分な学習・研究成果を挙げるよう努めること。
- (2) 参加学生は東京大学を代表する立場であることを自覚し、滞在先の機関・国の法令、規則、規程、マナー等を遵守すること。

10. 参加後の報告等

- (1) 参加学生は、プログラム終了日から2週間以内（必着）に本部国際交流課が定める報告書（所定様式）、パスポートの写し（「本人氏名、写真等記載欄」と「日本の入国管理局による出入国印」のページ）を本部国際交流課へ提出すること。
- (2) 上記以外にも報告書類の提出が求められる場合があるため、指定された期限内に提出すること。
- (3) 参加学生には、帰国後、報告会や説明会への参加のほか、東京大学の国際化に関する業務への協力（留学プログラムの広報や学生へのアドバイス、アンケート調査等）を依頼する場合がある。依頼があった場合、やむを得ない事情のない限り協力すること。

11. 問い合わせ先

※メールで問い合わせる場合は、必ず件名・氏名・所属・学年・電話番号を明記すること。

- (1) 奨学金・東京大学での応募方法に関すること：
東京大学本部国際交流課 学生・研究者交流チーム (intex-ut@ml.adm.u-tokyo.ac.jp)
- (2) 各プログラムの内容の詳細や、プログラムへの応募方法に関すること：
各プログラムのウェブサイトに記載の問合せ先

12. 応募書類

【様式電子ファイル ダウンロード先】

Go Global ウェブサイト

<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/program/iaru-apru.html>

<電子ファイルで提出するもの>

①学内申請書のExcelファイル（所定様式・署名前のもの）

②成績評価係数計算表のExcelファイル

③ (2.APRU USPに応募する学生)

Registration Form（所定様式）のワードファイル ※記入方法、ダウンロード方法は別紙を参照
(3.IARU GSCに応募する学生)

Registration Form（所定様式）のワードファイル ※abstractを含む

<紙媒体で提出するもの> ※全てA4判・片面印刷で提出すること。

①学内申請書（所定様式） ※署名入りのもの

②成績評価係数計算表（所定様式）

③大学入学後全学期の成績証明書（英文）の写し

※成績評価の基準（何段階評価か、等）が説明されている部分も含めて提出すること。

※国内外を問わず、他大学に在籍していた経験がある者はその大学の成績証明書を入手し、A4判に揃えて提出すること。

※大学院博士課程の学生については、大学院修士課程以後の成績証明書のみで可とする。

④英語能力を証明する書類（任意提出）

※所持していなくても応募は可能だが、所持している者を優先する場合がある
英語能力を証明できるものとして、次のいずれかを提出すること。

A. 以下の英語能力試験を受験している場合は、その証明書の写し：

TOEFL iBT、IELTS、TOEIC、実用英語技能検定

（受験後にウェブ上で確認できるスコアの写しでも可とする）

B. その他の英語能力試験等の成績証明書を提出する場合は、その成績証明書の写し及び、その英語能力試験等に関する説明文書（様式任意。ただし A4 サイズ）。説明文書の内容には、試験概要や、上記の英語能力試験への成績換算表等を含めること。

C. 特別な事情（英語圏の高等学校・大学を卒業、等）により、英語能力試験等を受験していない場合は、自身の英語能力を説明する理由書（A4 判 1 ページ、様式任意）を提出することができる。

⑤プログラム毎に必要な書類

1. IARU Global Cross-Disciplinary Tournament (IARU GXT)

- ・主催者のウェブサイトから個人で応募し、参加の許可を得ていることを証明する書類
（Finalist に選ばれたことがわかるメールなどの写し）

2. APRU Undergraduate Summer Program (APRU USP)

- ・Registration Form（所定様式） ※記入方法、ダウンロード方法は別紙を参照

3. IARU Graduate Student Conference (IARU GSC)

- ・Registration Form（所定様式） ※abstract を含む

4. APRU Doctoral Student Conference (APRU 博士課程会議)

- ・APRU 博士課程会議に提出した Abstract の写し
- ・APRU 博士課程会議からの Notification of acceptance abstract の写し